

## 9月定例記者会見要旨

最初の情報はその第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」についてです。

当市で開催される柔道競技会の来場者は、競技関係者や一般観覧者を合わせ、約1万人を見込んでおりますが、この県内外からのたくさんのお客様を、市を挙げて「おもてなし」の心で歓迎するとともに、本市の良さも知ってもらい、思い出に残る素晴らしい大会となるよう、ボランティアの皆さんの協力を頂きながら、準備を進めているところです。

中学・高校・大学生を含めた市民ボランティアの皆さんは、3日間で延べ約460人になる予定です。

今大会の運営で、重点としている「おもてなし」につきましても、特に「おもてなし班」を編成し、総合案内所係や売店・休憩所係に配置します。

今回、総合案内所は大会会場と佐貫駅東口に設置し、会場では会場内や駐車場などの案内に加え、たつのこアリーナ周辺商業施設の案内などを行い、佐貫駅では来場者が安心してたつのこアリーナへ到着できるよう、会場へのアクセスなどを含め、円滑な誘導を行います。

また、具体的な「おもてなし」としましては、たつのこアリーナ駐車場内に「ふるまいコーナー」を設け、商工会女性部による「まいんコロッケ」、商工会青年部による「龍ヶ崎ホルモン」、観光物産協会による「甘納豆」各300食を、日替わりで無料提供するほか、ドリンクコーナーでは、スポーツドリンク・お茶・サイダーなどの飲み物を無料で提供いたします。

さらに出場選手へのサポートに関しましては、選手がベストコンディションで試合に臨めるよう、大会前日からたつのこアリーナ・城ノ内中学校・城南中学校に練習会場を設けてシャトルバスを運行するほか、選手へのアドバイスやコンディショニングを目的に、コンディショニングルームに柔道整復

師を配置するなど、選手の体調管理に万全を期しています。

記者の皆様には、大会の様子とともに、こうした本市を挙げての歓迎や大会運営の様子にスポットライトを当てていただければ幸甚です。

続きまして、龍ヶ崎第九演奏会の情報です。

これは、文化会館設立35周年と同会館大ホール天井改修のリニューアルオープンを記念して開催するもので、期日は12月15日、チケット発売は9月27日からとなります。

主催者の龍ヶ崎第九実行委員会と龍ヶ崎市まちづくり・文化財団では、昨年度から準備を始め、より質の高い演奏会を目指して役員会や部会を重ねておりますが、合唱団の練習は、本番を迎えるまでに20回以上、初心者の方の練習も含めると30回にもなるとのことですので、当日はかなりの完成度になるものと、期待しているところです。

今回で5回目となるこの龍ヶ崎第九演奏会ですが、今回も前回に引き続き、指揮者に山下一史(やました かずふみ)氏、ソリストは、ソプラノ・澤畑恵美(さわはた えみ)さん、アルト・加納悦子(かのう えつこ)さん、テノール・福井敬(ふくい けい)さん、バリトン・黒田博(くろだ ひろし)さんと豪華な顔ぶれとなっています。

オーケストラは高いレベルの演奏で定評のある「新交響楽団」で、歌声に磨きをかけている240名の合唱団員との共演は、前回に勝るとも劣らない素晴らしい歓びのうたになると思っております。

続きまして、「女化まち歩き」の情報です。

これは、このたび女化神社境内にあります「女化神社親子狐の石像」が「龍ヶ崎市民遺産」に認定されましたことを記念して開催するもので、期日は10月24日です。

当日は9時に同神社をスタートして、周辺の「旧岡田小学校女化分校校舎」や「旧竹内農場赤レンガ西洋館」、「明治天皇駐蹕之地(ちゅうひつのち)」を含む計6つの史跡などを巡る、約4キロメートルのルートを歩く予定です。

まち歩き後にはバスで歴史民俗資料館へ移動し、女化稻荷とも呼ばれる同神社に因み、市内の老舗3店舗の稲荷寿司の食べ比べをします。

なお、参加者の募集は、先着20名となっており、10月10日木曜日から電話にて受付を行う予定です。

是非、多くの皆様にご参加いただき、龍ヶ崎市の歴史に触れるまち歩きイベントをお楽しみいただきたいと思います。

続きまして「生活困窮世帯等の子どもたちへの宅食配に伴うクラウドファンディング」の情報です。

本市では、クリスマスの日市内の生活困窮世帯の子どもたちに無料で食べ物やおもちゃなどを届ける「子ども宅食配」を昨年から行っております。

昨年は食品や物品の寄附を募り、宅配を実施しましたが、今年度は市民参加型の「クラウドファンディング」により資金を募り、宅食配実施の費用に充てることとしました。

今回クラウドファンディングとしたのは、資金調達という意味合いばかりではなく、寄附という行為を通して、市民のみなさまに困窮者支援に関わっていただき、その現状を身近に感じていただきたいと思いますという趣旨で実施するものです。

なお、本事業は本市が市内のNPO法人「NGO未来の子どもネットワーク」に委託して行っている「生活困窮者世帯等の子どもを対象とした居場所づくり支援事業」の一環として行います。

寄附の募集は、9月30日からの80日間で、「キャンプファイヤー」というクラウドファンディングのウェブサイト上の専用ページからお申し込みいただけます。今回は、目標達成金額を100万円として寄附金を募ります

が、資金の寄附だけでなく、昨年同様に食品や物品も募集いたしますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。